

## 2012 年硕士研究生入学复试试题

科目代码: B34 科目名称: 翻译与写作(日语)

注: (1) 本试题共 2 页。

(2) 请按题目顺序在标准答题纸上作答, 答在题签或草稿纸上一律无效。

### 一、次の中国語を日本語に訳しなさい。(30 分)

1. 在十一届全国人大五次会议首场新闻发布会上, 大会发言人李肇星在回答英国 ITV 记者关于中国增加军费开支的问题时表示, 中国有限的军事力量是为了维护国家主权安全、领土完整, 根本不会对其他国家构成威胁。李肇星说, 中国政府坚持国防建设与经济建设协调发展的方针, 根据国防需求和国民经济发展水平合理确定国防费规模。2012 年中国国防费预算为 6702.74 亿元人民币, 比上年预算执行数增加 676.04 亿元人民币, 增长 11.2%。李肇星说, 近年来, 为了维护国家主权、安全和发展利益, 适应中国特色军事变革的需要, 中国政府在社会经济快速发展、财政收入稳定增长的基础上, 保持国防费的合理适度增长。2008 年国际金融危机以来的三年, 中国的国内生产总值按当年价格计算, 年均增长 14.5%, 全国财政支出年均增长 20.3%, 而国防支出年均增长 13%, 国防支出占国内生产总值和全国财政支出的比重分别从 2008 年的 1.33% 和 6.68% 下降到 2011 年的 1.28% 和 5.53%。
2. 中国政府按照国防法、预算法等法律法规的要求, 对国防费实行严格的财政拨款制度, 每一年的国防费预算都纳入国家预算草案, 由全国人民代表大会审查和批准。中国国防费主要由人员的生活费、训练维持费和装备费这三部分组成, 包括新型武器在内的所有武器装备的研究、实验、采购、维修、运输和储存费用也都包含在每年公布的国防费预算内。中国坚持走和平发展道路, 实行防御性国防政策。中国有 13 亿多人口, 国土面积也大, 海岸线长, 但中国的国防投入与其他主要国家相比是比较低的。2011 年, 中国的国防开支占国内生产总值的比例仅为 1.28%, 而美国、英国等国家都在 2% 以上。李肇星对西方记者每年两会都盯着中国军费的现象表示了解。他说: “我突然想起来一句希伯来的古代谚语, 那就是‘人类一思考, 上帝就发笑’。我觉得我们应该让上帝多笑一笑了, 我们要多思考思考。我正在思考的问题之一, 就是怎么好多西方记者年年就特别盯着中国的军费问题。其实, 数字重要, 我们这些数字也都是很透明的, 还有一件事情也重要, 或者说更重要、也透明, 那就是我们的国防力量和外交, 一切都是为了维护和平。我们为了世界和平, 和其他所有爱好和平的国家和人民一起做了巨大的努力。”



## 二、つぎの日本語を中国語に訳しなさい。(30 分)

1. アンデルセンの「絵のない絵本」は、お月様が空から見聞きしたあれこれを夜ごとに話して聞かせる物語。最後の第三十三夜は、女の子が眠る前に「日々のパンを与えたまえ」とお祈りする話だ▼祈りのあと、こそっと言った言葉を、母親が「何て言ったの?」と聞く。〈「お母さん、怒らないでね」と小さな女の子は言いました。「あたし、お祈りしたのよ。パンにバターもたくさんつけてくださいまし、ってね!」〉(矢崎源九郎訳)。かわいく切なく、胸に残るせりふである▼さて、女の子はがっかりだろうか。アンデルセンの祖国デンマークでこの秋、バターの新税が導入された。他にもチーズや肉類、ピザなど、飽和脂肪酸を一定以上に含む食品が対象という。脂肪への課税は世界初と騒がれた▼税収を増やす胸算用もあるが、まずは国民の健康増進が狙いのようだ。飽和脂肪酸をとりすぎると、悪玉コレステロールが増えて病を呼ぶとされる。とはいえ名だたる酪農王国である。反発もあったと思われるが、憂いの方が勝ったらしい▼どこで聞いたか、「大人とは、垂直方向には発育をやめたが、水平方向にはやめていない人」という寸言があった。腹の周りを気にしつつ、日本も週末のクリスマス。ご馳走(ちそう)にスイーツに食欲全開の大人もおられよう▼やばは申すまい。体重計を放念し、存分に味わうも良しである。ただ一つだけ、パンにバターをたっぷりつけてあげたい子が、地球に多く暮らすことを忘れないようにして。

2. 日本にも、たまにだが「政治主導」が出現する。例えば日中の国交正常化は、田中角栄内閣ができて3カ月足らずで実現した。中国を承認する国は増え続けていたが、自民党内には反発する親台派がいた。大平正芳外相と北京に飛んだ田中は、「私と大平の政治力が試される」と腹を括(くく)る▼先ごろ公開された外交文書によると、田中は「迎賓館ができたなら最初にお迎えしたい」と周恩来を誘いもした。政治が方向を決め、そこへの道筋を官僚が整える。本来の姿だろう▼これと比べては酷ながら、野田首相の訪中、どれほどの成果があったのか。この時期、中国首脳と北朝鮮を語る意味はあろうが、首相の言動は霞が関の台本に忠実すぎる嫌いがある▼経済的にも軍事的にも、中国の重みは40年前の比ではない。自信過剰の振る舞いに、アジアの海は荒れ放題。日中の懸案の多くも、ガス田からパンダの貸し借りまで、先方に主導権があるかに見える▼不利な形勢でまみえるには、倍旧の外交力が要る。ところが、日本には田中も大平もいない。二回り小粒で、のべつ交代している首相と外相がいるだけだ。政治を見限った官僚たちの中には、妙に活気づく者もいる▼大衆人気を誇った田中首相も、狂乱物価と金脈批判で退陣に追い込まれた。そしてロッキード事件。それでも2年前の本紙調査では、戦後首相の一番人気である。前に進まない政治は「小粒」だけの責任ではないのだが、強烈なリーダーシップへの郷愁は理屈抜きらしい。

## 三、作文「大地震から見た日本人」 1000 字以内。(40 分)